



帯広市 JA帯広かわにし

『長いものをアメリカ、台湾、シンガポール等へ』

【主な品目】

長いも

【主な輸出先国・地域】

アメリカ、台湾、シンガポール等

【輸出に取り組んだ経緯と概要】

- ◆ 国内需給の適正化と市場価格の安定を目的に、薬膳ブームの台湾へ輸出。
- ◆ 高品質で安全・安心な十勝の長いものが健康食品として、台湾のほか、アメリカ、シンガポールでも人気。
- ◆ 産地間連携(十勝管内9農協)による年間安定供給体制を確立。

【輸出実績】(平成11年から輸出開始)

	輸出額(万円)	輸出量(t)	出荷時期
平成30年産	55,749	1,563	通年
令和元年産	45,695	1,482	
令和2年産	31,917	1,092	



GIマークとHACCP認証記載
輸出専用箱

【輸出に取り組む際に生じた課題及び対応】

- 台湾での差別化を図るために、平成20年にHACCP認証取得。平成29年4月には国際的に最も厳しい食品安全基準の一つ「SQF認証」を取得し、安全・安心かつ高品質を国内外へPR。海外で名称の不正使用に対応するため、地理的表示(GI)保護制度に「十勝川西長いも」を平成28年10月登録。
- SQF認証取得及びGI登録により、国内市場での販売強化のみならず、主な輸出先であるアメリカにおいて安全・安心かつ高品質な商品として販路をさらに拡大。
- 台湾での高評価がアメリカに伝わり、台湾系商社のアメリカ法人に販路を拡大。その際、アメリカで競合する中国産のシェアを奪うため、一級品に低価格帯の若干曲がりのある長いもを加えて輸出したところ、効果があり、現在では輸出先第1位だった台湾を抜き輸出の6割以上を占有。



長いも洗浄選別施設に掲示
「SQF・HACCP」認証工場プレート



長いも洗浄選別施設
自動箱詰ライン

【今後の課題・展望】

- 令和元年には、海外から求められる品質・コスト・ロットでの生産や海外の規制等に対応した「グローバル産地」の形成が必要なことから、産地パワーアップ事業を活用し、選別、包装、箱詰め作業を自動化する設備を導入した。省力化を図ると同時に、個別包装で長いもの鮮度を保持し、「GFPグローバル産地計画」に基づきさらなる増産体制を構築して輸出の拡大を目指す。



HACCP及びSQF認証を取得
長いも洗浄選別施設全景

平成28年度 輸出に取り組む優良事業者表彰 農林水産大臣賞

【活用した支援・施策】 令和元年度グローバル産地づくり推進事業

【ウェブサイト】 <http://www.jaobihirokawanisi.jp>

【連絡先】 帯広市川西農業協同組合 青果部 TEL:0155-59-2241